

皆さんから寄せられた「声」は、2019年度の東都生協の活動・事業に生かしていきます。

再生可能エネルギー

- 2018年3月から「みんな電力」の電気が利用できるようになりました。東日本大震災以来、原発から自然エネルギーへの転換が急務と思いつながら、どうしてよいか分からず、悶々としていたのですが、自然エネルギー普及対策に少しでも参加できるようになったのが、とてもうれしいことでした。(多摩市/60代)



東都生協でも再生可能エネルギー比率の高い家庭用電力「みんな電力」を紹介できるようになりました。まずは再生可能エネルギーに興味関心を持っていただければ、また、一人でも多くの組合員に、東都生協が新電力の斡旋を始めたことを知ってもらい取り組みをさまざまな機会を使って定期的に案内していきます。その上で、組合員から気軽に問い合わせや資料請求などをしてもらえる工夫も併せて進め、丁寧に説明していきます。

社会への取り組み

- 「フードドライブ」など、商品以外の企画があり、良いことだと思いました。商品案内などを回収してくれるので、家に紙が溜まらず、とても助かっています。(川崎市/50代)
- 「フードチャレンジ」などの取り組みはとてもいいと思います。(あきる野市/60代)



私たちの暮らしに関わる問題は、多岐にわたっていますが、その中の貧困格差、資源循環、食の見直し(食と農の距離を縮める活動や安全な食を食べ続ける活動など)などは、他団体との連携も含めて取り組んでいきますので、皆さん一人ひとりの参加、協力をお願いします。

募金活動

- 東北の復興応援市は良い企画だと思います。毎回たくさん購入しています。(日野市/60代)
- ニュースで自然災害の被害を目にする機会が増え、さまざまな災害対策用品を用意していただけて参考になります。備えあればと思いつ、心強く、継続的にご提案いただけてるので、安心して利用しています。(杉並区/70代)
- 「未来につながる募金」活動はとてもよいと思います。地元の団体ともつながっていることを伝えてもらえると身近に感じられてよいと思います。(東久留米市/50代)



東都生協は、設立時から「産直」を基本理念に掲げ、産地との信頼や協働を強めてきた事で距離が近いことが、大きな特徴です。温暖化などにより自然災害の発生が多い中で一般的には離農を考える生産者が多いと聞きますが、産直産地では、募金に込めた組合員の願いを受け、再度、栽培にチャレンジできています。また、今年度から実施した「東都生協未来につなぐ募金」も多くの組合員の参加により、14の団体を支援する事ができたことは、東都生協組合員の多くが「一人は皆のために」を実践している結果だと思います。その組合員の願いに応えるためにも、今後も積極的に社会や産直産地も含めた地域に貢献していきますので、引き続きご協力をお願いします。

3R(リデュース・リユース・リサイクル)活動

- 温暖化対策について、エネルギー消費量を減らす努力をしていきたいです。消費者ができることをもっと教えてほしいです。(墨田区/60代)
- 環境活動への取り組み(3R活動)のPRをもっとしてほしいです。(世田谷区/80代)



3R活動には、引き続き力を入れていきます。また、商品包材の縮小化などで可能な分野での取り組みは進めていきますが、商品の破損や食品衛生上の問題から、削減できない実態があることもご理解ください。なお、回収品目を増やしてほしいとの声もいただけていますが、回収から再利用までのサイクルをつくる必要がありますし、配送トラックの限られた荷台スペースに積みきれなくなる事態や配送センターで一時保管する場所の確保、物流機材などの備品購入に伴う費用支出などの課題から、慎重に検討していきます。ただし、今後新たな循環形態などが出てきた時には、実施に向けて準備します。

食の未来づくりフェスタ

- 生産者の方と交流できる機会を増やしてほしいです。五反田TOCでのイベントはなくなってしまったのでしょうか。(世田谷区/50代)
- 「食の未来づくりフェスタ」楽しみにしています。東都生協にしかない「個性」「こだわり」を大切にしてほしいです。(草加市/40代)



2019年度は、「食の未来づくりフェスタ」を開催する計画で準備を進めていますので、声を掛け合って、参集していただければと思います。また、産地・メーカーとの交流は、全体企画で年間約100回開催しています。地域委員会主催などを含めると400回を超える企画を実施していますので、ぜひ、参加ください。

「食の未来づくりフェスタ2019(仮称)」
2019年10月12日(土)
五反田TOCにて開催決定!



出席総代からの声

第2回 総代会議報告

4月4日～8日に14会場で開催され、333人が出席しました。第2回総代会議では、2018年度の活動と事業の報告と2019年度の活動計画についての質疑応答、分散会では少人数に分かれて意見交換を行いました。今後、総代の皆さんは第3回総代会議(6月初旬開催)を経て、6月13日(木)の第45回通常総代会に出席し、議案を審議、決定していきます。

- 経験豊かな組合員の方々の意見が聞けて良かったです。そういう方によって東都生協が支えられているのだと思います。感謝です。
- 東都生協の良さを知っている皆さんの話が聞けて良かったです。「わたしのこだわり」商品のお試しセットを作ってほしいです。紹介用にぜひ使いたいです。
- 週1回の供給の食材を使い切ることやおいしいうちに食べきる努力をすることで、食品ロスにつながり節約になることなど、他の総代の方の思いが参考になりました。
- 夕食宅配の試食会を行ったブロックの話聞き、企画を立てる際のヒントになりました。
- 野菜の欠品や余剰が出た時にスムーズに組合員に周知できるシステム作りをしてほしいです。出席の皆さんはやはり産直の良さを実感していました。
- 食の安全・安心には人との交流が大事であるとあらためて感じました。生産者・消費者との交流も人との関係であること。これからも信頼関係を深め、学んでいきます。
- 年代の違う方とたくさん意見交換ができてあっという間でした。TPPやマイクロプラスチックについてなど、勉強していかなければいけないと思いました。

第45回 通常総代会傍聴について

- 総代会は、東都生協の最高議決機関で、総代選挙で選出された総代が議案を審議し、決定します。
- 総代でない組合員は傍聴することができます。ご希望の方はお電話でお申し込みください。

※なお、会場の都合により傍聴の人数は制限する場合がありますので、ご了承ください。



受付期間 **5月13日(月)～24日(金)**

申込先: 組織運営部
電話 **03-5374-4756**

2019年度 第45回通常総代会までのスケジュール

総代会は、組合員から選ばれた代表=総代(定数600人)が、1年間のまとめと次年度の活動方針・事業計画などを決める大切な会議です。

4/29～5/3
「私たちの願い」(本紙)
〔「わたしの声」を集めた意見集〕
全組合員に配付

総代会議案
の確定

6/13 ㊦
第45回 通常総代会(総代が出席)
総代会の決議内容を
全組合員に報告